

2026年度までの 紙の手形の 全面的な電子化 に向けて取り組んでいます！



政府の『成長戦略実行計画』(2021年6月)等を踏まえ、金融界は産業界と連携・協力を得ながら、2026年度末までに紙の手形等から電子的決済サービス(電子記録債権またはインターネットバンキングによる振込)への移行を強力に推進しています。

紙の手形の代替としてぜひ「**でんさい®**」の利用をご検討ください！

でんさいとは？

株式会社全銀電子債権ネットワーク(通称 でんさいネット※)が取り扱う**電子記録債権**です。
※でんさいネットは、一般社団法人全国銀行協会の100%出資子会社です。



でんさいのご利用で 支払企業にも、受取企業にもメリットが！

支払企業



コスト削減

手形と異なり、印紙税は課税されません。郵送料や手形用紙代もかかりません。



事務負担軽減

手形の振出し作業や郵送作業など、支払に関する面倒な事務負担が軽減されます。



リスク低減

現物がないため、紛失や盗難の心配がなく、災害にも強いです。

受取企業



コスト削減

領収書に係る印紙税は課税されません。また、郵送料や取立手数料もかかりません。



事務負担軽減

領収書の作成、手形の保管・管理、取立依頼事務などは不要です。



リスク低減

現物がないため、紛失や盗難の心配がなく、取立忘れもなくなります。



資金繰りの円滑化

支払期日に自動入金されます。また、必要な分だけ分割して利用ができます。

さらに…



テレワークでも利用可能

非対面・非接触での決済取引が可能で、取引先・金融機関・郵便局等に行く必要がありません。



POINT
1



でんさいは簡単4ステップで利用可能です！

でんさいで支払いたい 支払利用の流れ

利用の検討

- でんさいに切り替えた際のコストメリット*を試算する
- 支払条件等を検討する
- 社内事務・会計システムを確認する
- 利用について社内決定をする

*金融機関によって手数料は異なります。



▲
手形からでんさいに切り替えた際のコスト比較を試算できます。

取引先への案内

- 取引先にでんさい切替の案内状を発送する
- 取引先からの回答を取りまとめる

利用準備

- 取引金融機関とでんさいの利用契約を行う
- でんさいを取り扱う権限者等を設定する
- 社内事務・会計システムの整備を行う

支払開始

- 本格的にでんさいでの支払を開始する前に親密先数社で利用してみる

STEP
1

STEP
2

STEP
3

STEP
4

でんさいで受け取りたい 受取利用の流れ

案内状が届く

- 取引先からの案内状で手形からでんさいへの支払方法変更の内容であることを確認する

利用の検討

- でんさいに切り替えた際のコストメリットを試算する
- 社内事務・会計システムを確認する
- 利用について社内決定をする



▲
手形からでんさいに切り替えた際のコスト比較を試算できます。

でんさい契約・回答

- 取引金融機関とでんさいの利用契約を行う
- 取引先に回答書を返送する

利用準備・受取開始

- でんさいを取り扱う権限者等を設定したのち、受取を開始する

POINT
2



さまざまな企業でご活用いただいています！



株式会社グッデイさま
(福岡県)

事業内容
ホームセンター

でんさい導入で、手形を全廃できました！

- 年間延べ100時間程度の事務量の削減に成功
- 手形発行の諸経費や人件費など年間600万円のコスト削減につながった



国際紙パルプ商事株式会社

国際紙パルプ商事
株式会社さま(東京都)

事業内容
紙・パルプ等卸売事業

支払手形全廃を目標に進めています！

- 印紙代だけで年間2,500万円のコスト削減を達成した
- 受取利用においても手形のような現物管理がなく、金融機関への取立依頼もなくなったことは大きな成果である

その他企業の事例紹介を
でんさいネット
ウェブサイトで公開中！

こちらから
アクセス！



POINT
3



全国の金融機関でご利用が可能です！



でんさいのサービスを提供している金融機関
(銀行、信用金庫、信用組合、農協・信連等)は、
でんさいネットウェブサイトでご確認いただけます。

<https://www.densai.net/list/>

各金融機関のデモ画面や操作体験ページも確認できます。*

*金融機関によっては操作体験ページ等を提供していない場合もあります。

こちらから
アクセス！

